

第1回埼玉県高等学校クイズ選手権

(第15回コバトンカップ特別企画)

2022年8月13日 @武蔵浦和コミュニティセンター

1st Round 50問ペーパークイズ

- ・筆記50問と近似値問題1問から成るペーパークイズ。制限時間は11分。
- ・得点そのままDPに加算される
- ・順位は「得点」→「近似値の誤差の少なさ」→「スタッフによる厳正な抽選」で決定する。

2nd Round ~4〇2×クイズ~

- ・1st Roundの順位によって参加者を6組に分けて行う早押しクイズ。2組ずつ3部屋に分かれて行う。
- ・4問正解で勝ちぬけ、2回の誤答で失格。1問正解するごとのDPの加算はなし。
- ・1位から順に9,6,3,0,0…DPを獲得する
- ・限定問題数は30問。
- ・同順位で複数人が並んだ場合はDPを切り捨て折半する(例:同率1位が2人いる場合、+7DPずつ)
- ・判定は〇数→×数

3rd Round ~6〇3×クイズ~

- ・1st Roundの順位によって参加者を6組に分けて行う早押しクイズ。2組ずつ部屋に分かれ、前半の3組の競技を実施している間、後半の3組は観戦。その後、後半の3組が競技を行う。組分けを変えて、この流れをもう一度行う。
- ・6問正解で勝ち抜け、3回の誤答で失格
- ・限定問題数は40問
- ・各組1位から順に12,9,6,3,0,0,0…DPを獲得する。これに加え、1問正解ごとに+2DPが与えられる。これは3問の誤答により失格になった場合でも適用される。(例.2〇3×で組内7位の時、+4DP)
- ・同順位で複数人が並んだら折半
- ・判定は、〇数→×数の順。3問誤答による失格者は判定に含めない。
- ・3rd Round終了時点のDP上位9名がSemi Final Roundに進出する

Semi Final Round (9→3) ~3フェイズ制早押しクイズ~

- 【第1フェイズ】 5〇到達で勝ち抜け
- 【第2フェイズ】 7〇到達で勝ち抜け
- 【第3セット】 9〇到達で勝ち抜け
- ・誤答は通算4回で失格
- ・各フェイズは誰かが勝ち抜けると終了。その時点で下位2名の者が脱落となり、ほかのプレイヤーは〇数と×数を引き継いで次のフェイズに移行する。すなわち、各フェイズの参加人数は、原則9→6→3と推移する。

- ・ 限定問題数は 3 フェイズを通じて 80 問。
- ・ 判定は【○の多さ】→【×の少なさ】→【サドンデス】

Final Round (3 → Champion!!) ~703×クイズ~

- ・ 7 問正解で優勝、3 回の誤答で失格。
- ・ 限定問題数は設けない。勝ち抜け者が出るか、用意した問題が尽きるまで出題を続ける。

2R から 3R では、下表の同じ色のパートでは同じ問題を使用する。組分けの詳細は当日提示する。

| | 2R 前半 | 2R 後半 | 3R 1-前半 | 3R 1-後半 | 3R 2-前半 | 3R 2-後半 |
|---------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 大部屋 | | | | | | |
| 第 2 集会室 | | | | | | |
| 第 6 集会室 | | | | | | |

注意事項

- ・ 人名が答えになる問題の場合、原則として東洋人名はフルネームを要求し、その他はファミリーネームのみの解答で正解とする。ただし、四股名や一般化した芸名などの場合はこれに限らない。
- ・ 明らかにフルネームを要求する問題は東洋人名以外でもファミリーネームでの解答は「もう一度」(後述)となる。
- ・ スポーツのチーム名などは「(地名、企業名)+(愛称)」での解答を要求する。
- ・ 複合姓については全て解答することを要求せず、想定解を回答したと好意的に判断できれば可とする。
- ・ ペーパークイズや早押しボードクイズは平仮名や片仮名での解答が可能。
- ・ 漢字の間違いやスペルミスは誤答とする。
- ・ 「?」「,」「…」等の記号の有無は原則判定に関わらない。
- ・ 早押しでのシンキングタイムは 5 カウント、スルーカウントは 3 カウント。
- ・ ブザーと同時の解答は誤答とし、スルーカウント終了のブザーとボタンを押すタイミングが重なった場合はスルーとして扱う。
- ・ 惜しい解答であるが正解にできない場合は正誤判定が「もう一度」をコールする。5 カウント以内に違う単語を解答すること。
- ・ 解答が聞き取れなかった場合は正誤判定が「聞こえませんでした」とコールする。5 カウント以内に同じ単語を解答すること。
- ・ カンニングは一切禁止。発覚した場合、失格処分とする。